

第26回 中部バイオテクノロジーシンポジウム
—医食住におけるバイオものづくりの現在—

- ◆日時：平成27年12月10日（木）15：00～
- ◆場所：ルブラ王山（名古屋市千種区覚王山／052-762-3151）
 - ※地下鉄東山線池下駅下車 2番出口(サンクレア池下地下1階)より徒歩3分
 - 白帝の間（2階）：基調講演、講演1、講演2
 - 金鯪の間（2階）：懇親会
- ◆主催：特定非営利活動法人バイオものづくり中部
公益財団法人科学技術交流財団
名古屋大学協力会
- ◆ご挨拶（15：00～15：05）
- ◆基調講演（15：05～16：00）

「食品・医療等に活用される工学系バイオ技術」

講師：名古屋大学大学院工学研究科 教授 本多 裕之 氏

【講演概要】アレイ配置による生体分子・細胞の機能解析についての発表です。ペプチドアレイではペプチドを1種類ごとにグリッド状に配置しその機能を解析することで、配列特徴を明らかにされています。細胞アレイではがん細胞や正常細胞を配置させ、その細胞の機能的特徴だけでなく、他の細胞との相互作用も解析されています。今回の講演では最新の成果をご紹介します。
- ◆講演1（16：00～16：40）

「最新技術が切り開く再生医療産業 —自家培養軟骨ジャックの開発から上市まで—」

講師：株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング
研究開発部長 自家培養軟骨ジャック プロダクトマネージャー 菅原 桂 氏

【講演概要】軟骨組織はケガなどで一度損傷を受けると自然には治らない組織です。患者さまの軟骨組織の一部を取り出し、軟骨細胞を増殖できるようにしたのが自家培養軟骨です。今回のご講演では自家培養軟骨ジャックの開発から上市までのお話しをご紹介します。
- ※休憩（16：40～16：50）
- ◆講演2（16：50～17：30）

「バイオミメティクスに学ぶ製品開発」

講師：株式会社 LIXIL R&D 本部 分析・評価センター センター長 井須紀文 氏

【講演概要】バイオミメティクス（biomimetics）とは、動植物など自然の生体に学ぶ開発の考え方で、生体の優れた機能や形状を模倣し、各分野に実用化することです。今回は、環境負荷を下げる仕組み作りを通して、バイオミメティクスを実践されている講師にバイオミメティクスの考え方とその応用についてご発表いただきます。

◆懇親会（会費 2,000 円）

17:30～19:00

【申し込み先、連絡先】

NPO バイオものづくり中部 事務局 担当：上井

〒460-0003 名古屋市中区錦 1-5-32 錦KTビル 4階（藤浪会計事務所内）

電話/FAX：052-203-2053 E-mail：support@bioface.or.jp

※会場準備の都合上、御社名、ご役職、ご氏名、メールアドレス、懇親会参加可否をご記入の上、平成27年12月3日（木）までにE-mail：support@bioface.or.jp までお申込みください。